

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年12月27日

事業所名：ラビット☆キッズ

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	利用定員に応じたスペースは確保している。	・特別広くはないがキレイにしており、できる限りのスペースを確保していると思う。 ・児童10名と職員が同じフロアにいるのは狭く感じるが、色々工夫はしている。 ・もう少し広いと良いと思う。	限られたスペースを有効活用しつつ、より良いサービスを実施していきたい。
	2 職員の適切な配置	適切である。	・専門性に関して、以前よりも職員が熱心だと感じる。 ・適切がどの程度かわからない。 ・専門性についてわからない。	児童2名につき、職員1名の配置を継続していきたい。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	やるべきことを絵や文字を提示し視覚化したり、パーテーションを用いて落ち着いた環境で過ごせるようにしたりするなど整備している。	・一人ひとり自分の目印シールが用意されている。 ・導線や子どもに分かりやすい掲示など施されていると思う。	今後も継続していきたい。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日清掃し、清潔にしている。 空気清浄機、加湿器を稼働させている。	・よく掃除されている。	今後も継続していきたい。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	月に1回ミーティングを行い、日々の業務を振り返り、検討会を行っている。		今後も継続していきたい。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	実施していない。		
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	定期的に事業所内で研修を行っている。 外部研修にも積極的に参加してもらっている。		継続し、スキルアップを目指していきたい。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	適切にアセスメントを行い、サービス計画を作成している。	・子どもの話を聞いてくれ、支援してくれている。 ・しっかりと希望を聞き、それをもとに計画を立ててくれている。	今後も継続していきたい。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に応じた計画を作成している。	・面談の時など色々話をした上で、個別支援計画を作ってもらっている。 ・個別支援計画に、どのように支援していくのか書いてもらっている。	今後も継続していきたい。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	子どもの支援に必要な項目、内容を記載している。	・面談のときに、子どもに合った計画と一緒に考えてくれている。	今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
適切な支援の提供も(続き)	4	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	計画に沿った支援を実施している。	・実施されている。	今後も継続していきたい。
	5	チーム全体での活動プログラムの立案	訓練案、制作案など考えている。		今後も継続していきたい。
	6	平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	子どもの状況に応じて、無理なくのびのびと過ごせるような支援を行っている。	・色々工夫していると感じる。 ・時々遠足に行ったり、毎日色々な活動を考えてくれている。 ・月3回程度の利用のため、わからない。	今後も継続していきたい。
	7	活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	体を動かす遊びや指先トレーニング、四季に応じた制作など、日々活動プログラムを考えている。 また天候が良いときは散歩や公園へ出かけたり、月に1回は遠足へ出かけたりしている。		今後も継続していきたい。
	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	業務日報にその日の支援内容、流れなどを記載し、確認している。 遠足、行事などの日は役割分担など事前に伝えている。		今後も継続していきたい。
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	気付いた点など話したり、その場にはいない人に向けて職員間の連絡ノートに記入して共有している。		今後も継続していきたい。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	保育日誌に日々の支援を記録し、管理している。 月に2回会議で支援の検証、改善を行っている。		今後も継続していきたい。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリング、計画の見直しを行っている。		今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	大半の児童がセルフプランのため、担当者会議が実施されていない。		関係事業者と共に話したり、相談したりできる関係を築いていきたい。
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	対象児童がいない。		—
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	対象児童がいない。		—
	4 児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	保育園、幼稚園などと児童の様子、支援内容などの情報共有を行っている。		今後も継続していきたい。
	5 放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供、	—		—
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	職員に向けて研修受講の促進を行っている。		今後も継続していきたい。
	7 児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	機会を持っていない。	・週1回の利用しかしていない、情報がない等のため、わからない。 ・ラビットの職員、幼稚園の担任が互いにそれぞれ訪問してくださり、一人の児童のために交流していただき、感謝している。	対象園に駐車場がないため交通手段が無く、実施が難航している。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	会社全体で夏祭りを開催している。		今後も継続していきたい。
1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	契約時に説明している。 変更があれば適宜口頭で説明し、書面でもお渡ししている。	・説明していただきました。 ・変更があるときはわかりやすく紙に記載し、知らせてくれている。	今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責・連携支援	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	契約時に説明している。	・説明していただきました。	今後も継続していきたい。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	実施していない。	・個別に質問に対応してもらっている。 ・プログラムが何を指しているのかわからない。	
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	送迎時に伝えたり、連絡帳に記載したりして共有している。	・送迎時に話をさせてもらっている。いつもとても丁寧に説明してくださるので有難く、感謝しています。 ・お話す機会が少なく、連絡帳でのやりとりをしている。	今後も継続していきたい。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	口頭、連絡帳の他、電話やメールでも受け付けており、対応、助言している。	・文字の書きとりで注意する点を教えていただき、助かっている。自分ではどのように子どもに教えたらいいか難しいが、具体例を示してくれて、家庭でも実行しやすい。	今後も継続していきたい。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	茶話会を開き、保護者同士で話したり情報共有したりする機会を設けた。	・交流会など開催されているようですが、わかりません。 ・他の保護者の方と会う機会は、もう少し多くても良いと思う。	保護者同士で交流できる機会が欲しいとの声が多いので、もう少し回数を増やしていきたい。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	契約書に苦情窓口を記載している。	・苦情を申し立てたことがない、そのような状況になっていないため、わからない。 ・特に問題はありません。	今後苦情があった場合は、迅速かつ適切な対応をしていきたい。
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	日々様子を写真や動画などもお見せしながら、保護者の方にお伝えしている。	・活動の様子を写真や動画で情報伝達していただき、子どもの様子がよくわかるので良いと思う。 ・直接的に活動は見れませんが、動画など送ってくれて様子がわかりやすい。	今後も継続していきたい。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	月1回通信便りを発行、HPのブログにて活動の様子を更新している。 その他の連絡について幾度便りやメールにて発信している。	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも楽しみに拝見しています。 ・行事予定はわかりませんが、日頃の活動を写真付きでupしてくれたり、わかりやすいと思う。 ・日々の出来事をプリントで知らせてもらっている。 	今後も継続していきたい。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約時に個人情報事業所関係者内でのみ利用の旨をお伝えし、写真の利用範囲等も確認をしている。	<ul style="list-style-type: none"> ・特に問題はありません。 ・どれくらい十分に取扱いしているかわからない。 	今後も継続していきたい。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	警察の方に協力していただき、防犯訓練を行っている。 全職員が感染症の研修を受講し、嘔吐したときの対応など練習している。	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントをもらっている。 ・防犯マニュアルがどのようなものかわからない。 	防犯や感染症について、HPや通信便りなどで保護者の方にも通知していきたい。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	定期的に避難訓練を行っている。 実際に避難場所(近隣小学校)まで行き、避難経路の確認を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練をしていただいているようで安心しています。 ・HPにて防犯訓練の様子を見させていただき、理解しました。 ・訓練が行われているのかわからない。 ・通い始めて間もないため、訓練の日に当たったことがない。 	自然災害が増えてきているため、もう少し頻度を増やして実施していきたい。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	全職員、年に1回必ず虐待研修を受けている。 市町村が実施する虐待研修にも参加している。		今後も継続していきたい。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を行う場合のある児童に対して、同意書をいただいた上で、個別支援計画書にも記載している。		今後も同様の対応を行っていきたい。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	食物アレルギーがあるかどうか、契約時に確認している。ある場合、昼食を除去食にするか、弁当を持参いただくか選択してもらっている。おやつも同様。		今後も継続していきたい。
	6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハットがあれば用紙に記入し、職員間の連絡ノートにて共有している。		今後も継続していきたい。